

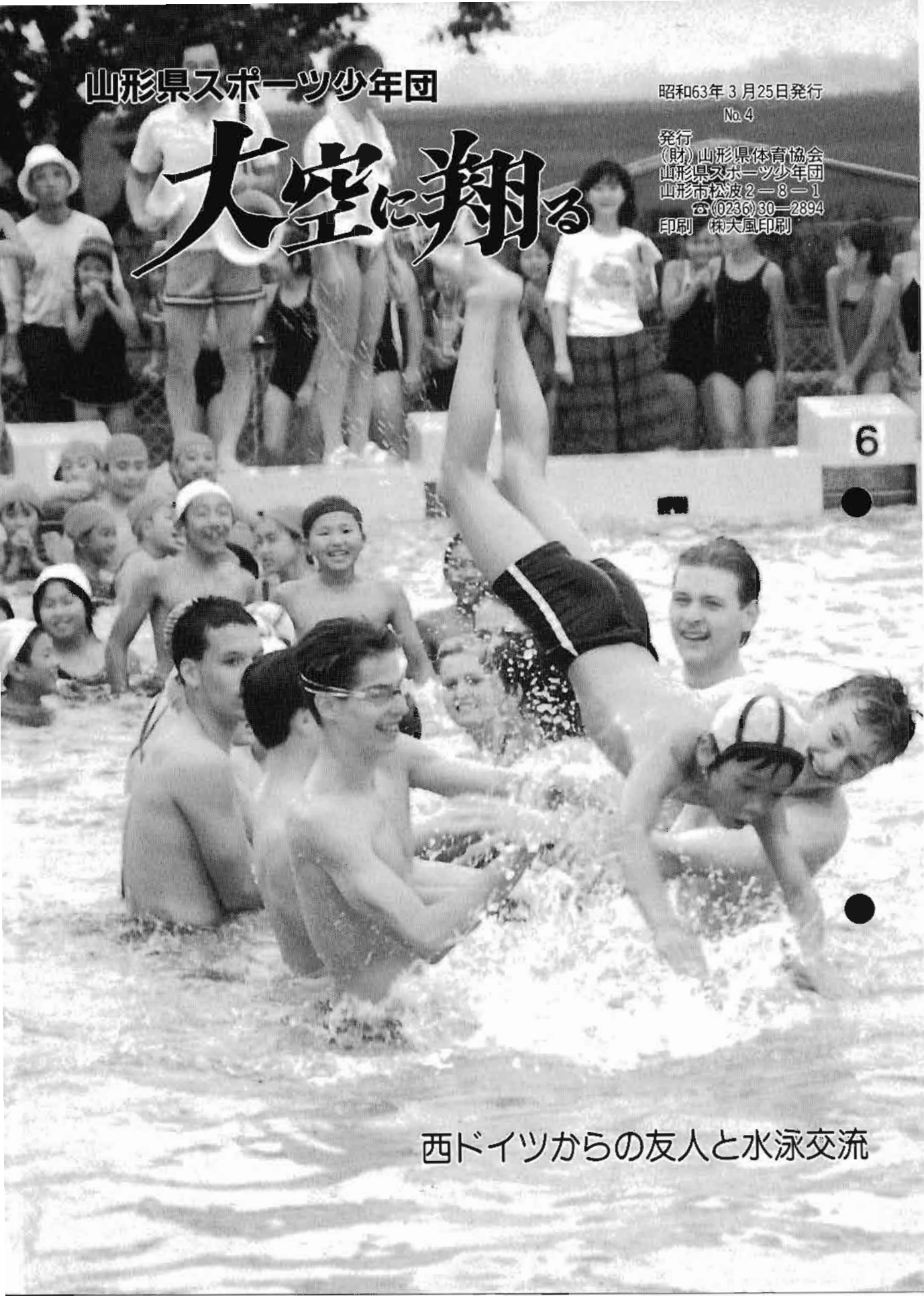
山形県スポーツ少年団

昭和63年 3月25日発行

No.4

大空に翔る

発行
(財)山形県体育協会
山形県スポーツ少年団
山形市松波2-8-1
☎(0236)30-2894
印刷 株式会社印刷



西ドイツからの友人と水泳交流

スポーツ少年団をどう育てるか

育成母集団確立のために



少年たちのスポーツ活動とその組織を育成する育成母体として、育成母集団を各団に組織化することが必要です。育成の母集団づくりは、スポーツ少年団の組織を強化確立するための方策であり、それによってスポーツ少年団が地域社会に根をおろした組織となるのです。

育成母集団の役割と機能には、三つの面が考えられます。

- ①スポーツ少年団の育成援助
- ②スポーツ少年団の運営・指導の分担
- ③母集団のための活動

母集団をつくるのに、その主役はまず団員たちの親であることを認識し、親たちの参加によってスポーツ少年団育成の母体をつくり、さらに地域住民の参加を求めることが大切になってきます。

そこで、今回は事例等を紹介しながら、育成母集団の役割について特集しました。

育成母集団活動の役割

認定育成指導員



遠藤 圭一

スポーツ少年団活動が年々盛んになり、団・団員・指導者とも毎年増加してきています。本県も団員・指導者あわせ三万八千人の組織になりました。市町村本部も単位団も組織・指導体制が充実してきましたことは素晴らしい事です。

会参加活動 ⑤交歓交流活動 ⑥体力テスト等、広範囲にわたります。

本県のスポ少活動の平均的数値は、週二〜三回、一回二時間、年百〜百二十回の活動です。これほどの活動があれば、育成母集団の主役である親が、団員と指導者にとのようにかかわるか問われて当然です。そこで、活動内容や役割を考えてみたいと思います。

です。そういう中で、母集団の役割を考えると、輸送、応援体制、経費、食糧等の調達、写真、スコア等の記録、反省会、天候への対応等いろいろあげられます。

四十七回「べにばな国体」開催が正式内定し、県民のスポーツへの関心も高まり、少年をとりまくスポーツ活動は、なお一層活発になってきました。

●交歓交流活動への参加
スポーツ少年団の交流活動や大会の場でみられることは、父母、兄弟姉妹、祖父母等が子供たちの活動に一喜一憂している姿です。良いプレーに対する拍手や激励の声援は、団員や関係者の心をうつもの

●少年団の育成援助と運営
少年団はそれぞれの目的と計画に基づいて活動しています。母集団は、団の年間活動方針に対し助言したり、指導者と共に協議しながら、少年の健全育成のために運営に協力しなければなりません。定期的な会合をもち、それぞれの役割を分担するとか、会計や活動場所の確保と交渉、学校や子供会育成会との連携等、役割は沢山あります。指導のアシストも経験者の方は積極

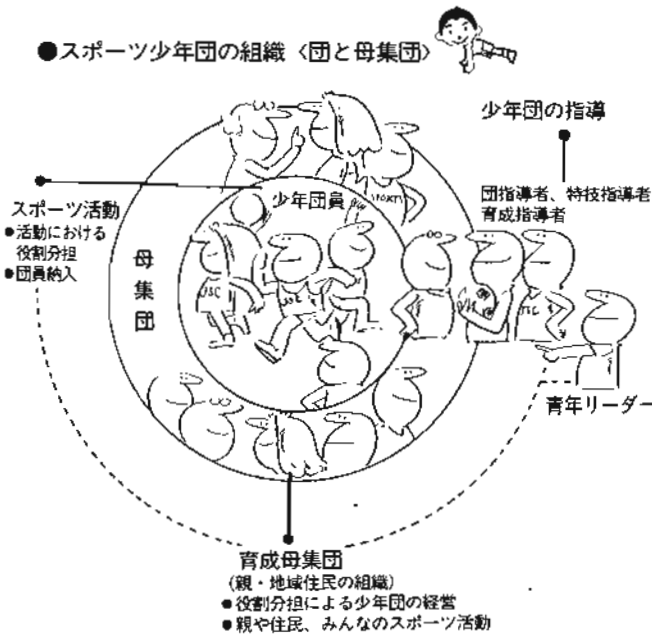
的にして欲しいものです。更に、指導者の後継者育成も心掛けて、地域の中で考えていかなければなりません。

親睦を深め、地域おこしの一翼をなすような育成母集団であればすばらしいと思います。

●育成母集団のための活動
母集団活動としてもっとも勤めたいのは、母集団そのものがスポーツ活動をする事です。健康体力づくりを勧めるとともに、各種の研修とか子供の教育について語り合い、又、地域の人として相互理解と

役割等をおおまかに述べましたが、親は、地域に生きて一人の大人として、地域全体とのかかわりをもちつつ、次の世代を背負って立つ子供たちを立派に育てる責任があります。スポーツ少年団活動を、通して育成母集団が果たす役割は非常に大切なものです。

●スポーツ少年団の組織〈団と母集団〉



学校・地域と密着連携

いま「闘魂」から「飛翔」へ



山形市千歳スポーツ少年団

会長 小出 毅

スポーツを通して健全な精神と体力の育成をはかろうとサッカー・バスケットボール・バレーボールの三種目の複合同として結成された当少年団は、多くの紆余曲折を経ながら、十年目を迎えました。

また、学校やPTA、地域との連絡協調・調整も母集団としての大きな役割であると考えています。母体の学校長はじめ、地域代表の方々からは、顧問として支援いただき、指導者連絡会等の場でも意見を頂戴しているところで、今回、当団バスケットボール部が全国大会へ出場しますが、全町内会長からご支援いただき、地域から全国へ、の合言葉で派遣運動を進められるのも、地域重視の活動の結果であると思います。今後とも、地域に育くむ少年団を目指していきたいと思いを新たにしてい

い、団員を同一レベルで育成するため、コーチ等による指導部を設置したところです。部としての自主的運営と共に母集団の調整機能を生かすことが大切であると思います。

さらに各部に「父母の会」結成を進め、団組織と表裏一体で活動してもらっており、団運営の上で大きな力となっていると共に、大人の親睦も



▲母集団に支えられた伸び伸びプレイ

「生涯スポーツの土台としての母集団活動」

鶴東スポーツ少年団

事務局 金子隆雄

各種目を組織上、部制にし活動してきましたが、当初は勝利至上主義的傾向が強く、正に「闘魂」のみの状態で正選手と補欠間のミゾすら生成されたり、また部毎に凝り固まりがちな面がありました。これらを打破するため、団員は全て平等であり、選手は団員の代表にすぎないこと、「団活動での良い思い出作り」が最大目標であるとの意識をもたせる事に力を注ぎました。また、部ごとのカベを取り払

また、学校やPTA、地域との連絡協調・調整も母集団としての大きな役割であると考えています。母体の学校長はじめ、地域代表の方々からは、顧問として支援いただき、指導者連絡会等の場でも意見を頂戴しているところで、今回、当団バスケットボール部が全国大会へ出場しますが、全町内会長からご支援いただき、地域から全国へ、の合言葉で派遣運動を進められるのも、地域重視の活動の結果であると思います。今後とも、地域に育くむ少年団を目指していきたいと思いを新たにしてい

大いに進められています。当千歳地区は、自治省のコミュニティ推進地区に指定されており、少年団もこれらに積極的に参画して地区活性化に大きなインパクトを献上している今、いよいよ「飛翔」の時を迎えたといえます。



我が鶴東スポーツ少年団の冬の一大イベント「四団合同スキーの集い」が今年も一泊二日の日程で一月十七・十八日、羽黒国民休暇村スキー場で行なわれました。今年の参加者は、四年生以上の団員百二名、指導者、育成会員、学校関係者ががっちりスクラムを

団員たちの歓声がスキー場のあちこちから聞こえます。汗と共に昨晩のアルコールを吹き飛ばしながら？熱心に団員のお父さんたちがスキーの指導をして下さっています。

校関係者合わせて三十九名、合計百四十一名。十八日は学校の日曜参観日の代休ですので、ほとんどの指導者、育成会員は仕事を休んでの参加ということになります。指導者、育成会、学校関係者ががっちりスクラムを



▲子供と共に成長する母集団を目指して

鶴東スポーツ少年団は、子供とともに成長し活動する母集団づくりをめざしてきます。

組んだこの催しこそ、鶴東スポーツ少年団の誇りであると思います。
鶴岡市の第二学区の児童を対象とした鶴東スポーツ少年団は、ミニバスケットボール(男・女) サッカー(男子) バレーボール(女子) 剣道(男女)の四つの単位団で構成されています。各単位団とも、育成会部長を中心に子供の立場に立った活動、親と共に楽しむ活動を計画し実行しております。これらの活動を合同で行うのが、前述の「四

団合同スキーの集い」です。

各単位団共通の悩みは、母集団活動は、試合に出る子の親だけが参加し、望ましい育成母集団活動になっていないことです。この悩みも、できる限り、親子での参加の機会を増やすことにより解消されつつあります。あまり目立たない団員が活躍することもしばしばで、親と子の活動は必要不可欠です。鶴東にも生涯スポーツの土台をつくるための母集団活動という考え方が序々に浸透してきたようです。

昭和62年度山形県スポーツ少年団登録状況

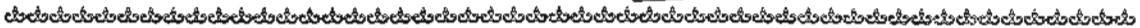
63.1.20現在

| 団名 | 団員(団) | | | 団員(人) | | | 指 導 者 | | | | | | 計 |
|--------|-------|----|-----|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-------|
| | 更新 | 新規 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | | | 女 | | | |
| | | | | | | | 更新 | 新規 | 計 | 更新 | 新規 | 計 | |
| 総務 | 808 | 60 | 868 | 21,286 | 11,621 | 32,907 | 3,637 | 1,241 | 4,878 | 258 | 174 | 432 | 5,310 |
| 東南村山支部 | 205 | 21 | 226 | 5,636 | 2,504 | 8,140 | 790 | 326 | 1,116 | 52 | 51 | 103 | 1,219 |
| 山形市 | 129 | 8 | 137 | 3,662 | 1,441 | 5,103 | 488 | 199 | 687 | 41 | 28 | 69 | 756 |
| 上山 | 17 | 7 | 24 | 597 | 249 | 846 | 69 | 48 | 117 | 2 | 9 | 11 | 128 |
| 天童市 | 41 | 3 | 44 | 878 | 528 | 1,406 | 160 | 63 | 223 | 8 | 13 | 21 | 244 |
| 山辺町 | 12 | 3 | 15 | 256 | 139 | 397 | 39 | 13 | 52 | 1 | 1 | 2 | 54 |
| 中山町 | 6 | 0 | 6 | 241 | 147 | 388 | 34 | 3 | 37 | 0 | 0 | 0 | 37 |
| 西村山支部 | 59 | 4 | 63 | 1,534 | 912 | 2,446 | 256 | 108 | 364 | 6 | 7 | 13 | 377 |
| 寒河江市 | 22 | 1 | 23 | 616 | 323 | 939 | 104 | 46 | 150 | 0 | 1 | 1 | 151 |
| 河北町 | 18 | 1 | 19 | 429 | 325 | 754 | 62 | 24 | 86 | 2 | 3 | 5 | 91 |
| 西川町 | 3 | 1 | 4 | 82 | 45 | 127 | 17 | 10 | 27 | 1 | 0 | 1 | 28 |
| 朝日町 | 10 | 1 | 11 | 246 | 141 | 387 | 44 | 24 | 68 | 2 | 2 | 4 | 72 |
| 大江町 | 6 | 0 | 6 | 161 | 78 | 239 | 29 | 4 | 33 | 1 | 1 | 2 | 35 |
| 北村山支部 | 68 | 9 | 77 | 2,177 | 859 | 3,036 | 317 | 147 | 464 | 13 | 20 | 33 | 497 |
| 村山市 | 19 | 1 | 20 | 590 | 111 | 701 | 108 | 35 | 143 | 2 | 3 | 5 | 148 |
| 東根市 | 18 | 6 | 24 | 695 | 347 | 1,042 | 76 | 69 | 145 | 9 | 13 | 22 | 167 |
| 尾花沢市 | 26 | 1 | 27 | 736 | 354 | 1,090 | 118 | 31 | 149 | 2 | 4 | 6 | 155 |
| 大石町 | 3 | 1 | 4 | 156 | 47 | 203 | 15 | 12 | 27 | 0 | 0 | 0 | 27 |
| 最上支部 | 68 | 6 | 74 | 1,945 | 1,317 | 3,262 | 343 | 156 | 499 | 28 | 12 | 40 | 539 |
| 新庄市 | 23 | 2 | 25 | 575 | 370 | 945 | 96 | 43 | 139 | 10 | 2 | 12 | 151 |
| 金山町 | 6 | 0 | 6 | 194 | 141 | 335 | 31 | 15 | 46 | 1 | 2 | 3 | 49 |
| 舟形町 | 10 | 2 | 12 | 229 | 160 | 389 | 62 | 17 | 79 | 2 | 1 | 3 | 82 |
| 舟形町 | 5 | 0 | 5 | 211 | 167 | 378 | 20 | 17 | 37 | 1 | 0 | 1 | 38 |
| 真室川町 | 7 | 1 | 8 | 243 | 151 | 394 | 45 | 20 | 65 | 1 | 0 | 1 | 66 |
| 蔵村 | 4 | 0 | 4 | 94 | 69 | 163 | 21 | 1 | 24 | 0 | 1 | 1 | 25 |
| 川村 | 8 | 1 | 9 | 178 | 77 | 255 | 30 | 20 | 50 | 3 | 4 | 7 | 57 |
| 戸沢村 | 5 | 0 | 5 | 221 | 182 | 403 | 36 | 23 | 59 | 10 | 2 | 12 | 71 |
| 東南支部 | 88 | 5 | 93 | 2,362 | 1,065 | 3,427 | 561 | 116 | 677 | 53 | 19 | 72 | 749 |
| 米沢市 | 43 | 3 | 46 | 1,215 | 817 | 1,632 | 235 | 74 | 309 | 24 | 11 | 35 | 344 |
| 南陽市 | 15 | 1 | 16 | 352 | 182 | 534 | 78 | 10 | 88 | 14 | 1 | 15 | 103 |
| 高島町 | 11 | 1 | 12 | 420 | 234 | 654 | 136 | 27 | 163 | 9 | 1 | 10 | 173 |
| 川西町 | 19 | 0 | 19 | 375 | 232 | 607 | 112 | 5 | 117 | 6 | 6 | 12 | 129 |
| 西置賜支部 | 55 | 5 | 60 | 1,440 | 800 | 2,240 | 312 | 78 | 390 | 18 | 12 | 30 | 420 |
| 長井市 | 17 | 4 | 21 | 677 | 247 | 924 | 93 | 39 | 132 | 7 | 7 | 14 | 146 |
| 小国町 | 7 | 0 | 7 | 159 | 111 | 270 | 21 | 7 | 28 | 0 | 0 | 0 | 28 |
| 白鷹町 | 20 | 1 | 21 | 472 | 314 | 786 | 142 | 28 | 170 | 6 | 1 | 7 | 177 |
| 飯沼町 | 11 | 0 | 11 | 192 | 128 | 320 | 56 | 4 | 60 | 5 | 4 | 9 | 69 |
| 庄内支部 | 265 | 10 | 275 | 6,192 | 4,164 | 10,356 | 1,058 | 310 | 1,368 | 88 | 53 | 141 | 1,509 |
| 鶴岡市 | 74 | 3 | 77 | 1,827 | 1,137 | 2,964 | 314 | 70 | 384 | 34 | 18 | 52 | 436 |
| 高川町 | 8 | 2 | 10 | 145 | 114 | 259 | 48 | 27 | 75 | 2 | 0 | 2 | 77 |
| 余目町 | 15 | 2 | 17 | 317 | 155 | 472 | 42 | 19 | 61 | 1 | 1 | 2 | 63 |
| 藤島町 | 7 | 0 | 7 | 211 | 95 | 306 | 29 | 9 | 38 | 3 | 0 | 3 | 41 |
| 羽黒町 | 9 | 0 | 9 | 217 | 145 | 362 | 40 | 4 | 44 | 0 | 0 | 0 | 44 |
| 日引町 | 7 | 0 | 7 | 200 | 127 | 327 | 47 | 14 | 61 | 5 | 5 | 10 | 71 |
| 朝日町 | 10 | 0 | 10 | 190 | 203 | 393 | 38 | 11 | 49 | 4 | 0 | 4 | 53 |
| 三川町 | 5 | 0 | 5 | 219 | 171 | 390 | 50 | 13 | 63 | 3 | 0 | 3 | 66 |
| 湯野町 | 7 | 0 | 7 | 164 | 141 | 305 | 26 | 19 | 45 | 3 | 1 | 4 | 49 |
| 酒田市 | 87 | 3 | 90 | 1,892 | 1,203 | 3,095 | 270 | 86 | 356 | 25 | 24 | 49 | 405 |
| 遊佐町 | 14 | 0 | 14 | 332 | 263 | 595 | 54 | 12 | 66 | 2 | 1 | 3 | 69 |
| 八幡町 | 8 | 0 | 8 | 177 | 153 | 330 | 23 | 9 | 32 | 3 | 0 | 3 | 35 |
| 松山町 | 8 | 0 | 8 | 148 | 119 | 267 | 53 | 8 | 61 | 0 | 3 | 3 | 64 |
| 平田町 | 6 | 0 | 6 | 153 | 138 | 291 | 24 | 9 | 33 | 3 | 0 | 3 | 36 |



今年もいろいろな交流がありました。みなさんも積極的に参加しましょうね。

交流 友好



全国スポーツ少年大会に参加して

鶴東剣道スポーツ少年団

墨井 潤(鶴岡市)

僕は、この大会に参加して 人とも親しくなれました。本当に良かったと思う。他の 都道府県の人たちと、わずかなことを学びました。助け五日間で親しくなれたからです。普通、同じ県の同じ事を やってる人とても親しくなれないのに、違う事をやってる 山でしみじみ感じました。



▲励ましあいながら登った富士山(山頂にて)

山をやめようとした時、励ましてもらってどんなにやる気になったことか、後ろから押してもらってどんなに楽になったことか……。これは本当に大切なことだと思いましたが。この大会も、スポ少年も団体活動という点で同じです。 思えます。

自分の特技を持とう

青葉剣道スポーツ少年団

富樫 貞 皓(川西町)

岩手県の父なる山、岩手山。その雄大な姿を目前にして、滝沢村での東北ブロックスポーツ少年大会は四日間の研修生活。楽しい体験であった。幻想的なキャンプファイヤーは、忘れることのできない思い出になるであろう。

不安で遠慮がちだったが、先生方の御指導のお陰で二、三日と日が経つにつれ打ち解け、お互い何かをつかもうと努力している心がかうかえた。この四日間、自分をアピールする事の必要性和難しさ、班行動における協調性の重要性を痛感してきた。それには、



西独スポーツユーゲントの人たち

八幡町教育委員会
派遣社会教育主事 遠田健一

西ドイツの友達が、出羽富折々にミーティングをしてい
士の里「八幡」に来町し、待望るのが印象的だった。
の交流が始まった。(7/23) スポーツ少年団員との和気
九軒のホームステイ受け入 あいあい、はじける笑いの水
泳交流、この時、言葉は不要
終始、快活、はつきりした物 だった。スポーツは国境を越
言い過ぎていた。活動の える虹だと思った。



▶ 苦しきから無の世界へ



▶ 庄内浜でのカヌー交流



▶ 村祭りを再現し町民との交歓会

浴衣姿で歌と踊りに気を吐いた町民との交歓会、青い空の下、日本海、庄内浜でのスイカ割やバーベキュー、長い脚を無理に曲げて、無の境地? をさぐった座禅、そして、別れを惜しんださよならパーティ。全てが、異なる国民性が交わり、心と心を結ぶ思い出深い行事だった。

そして、今も手紙を交換し、ドイツの人達との交流は続いている。心の交流が残った。

麦畑や牧草地をそよぐさわやかな風を胸いっぱい吸い、どこまでもくねり続く道を、そして、なだらかな緑の丘を幾つも越えた。豊かな森林と牧場に囲まれ、赤や白やオレンジ色の花が飾られた街並に、私が別れを告げたのは八月九日であった。

二十四日間、強く感じたことは、スポーツはかくも恵まれた施設でかくも楽しく、かくもリッチに行うものなのかという点である。スポーツを通して「楽しい仲間をつくりたい」という願いが伝わってくる。夕方散歩する老夫婦、サイクリングを楽しむ若者、夜九時過ぎまで(まだ明

西ドイツに学ぶ

第24回同時交流指導者長
北村山教育事務所 兼 子 忠

指導者の方々と
野外パーティで▼
マルクトオーバドルフにて



べにばな国体・オリンピックが目標

余目体操スポーツ少年団(余目町)

指導者 菅原三也



わが余目体操スポーツ少年団は、結成して二年目ですが、結成以前に愛好会という形で継続してきたので、基礎は小・中・高と一貫した指導がしっかりとっており、県大会で

は数多くの優勝をさらしました。指導体制も充実しており、

り組み、その成果が着実に結実しつつあります。子供たちの夢は大きくふくらんでおり、べにばな国体やオリンピックの出場をめざして毎日練習に励んでいるところです。

▲バックブリッジ、バックテジ、なんでもできるよ!!



わが大豊野球スポーツ少年団は、京塚地区と石名坂地区の二つのスポーツ少年団が合併して結成された少年団です。子供たちは、少年団の目的を自覚しており、あるときは厳しい練習にも耐えながら、また、人形劇などを通して、心の豊かさを身につけてきました。

大豊野球スポーツ少年団(鮭川村)

指導者 五十嵐文男

心の豊かさを身につけて

その成果が認められ、一昨年度より優良スポーツ少年団として表彰されました。この榮譽を忘れずに、「べにばな国体」を目指し、がんばります。



より強く中山ミニバスケ

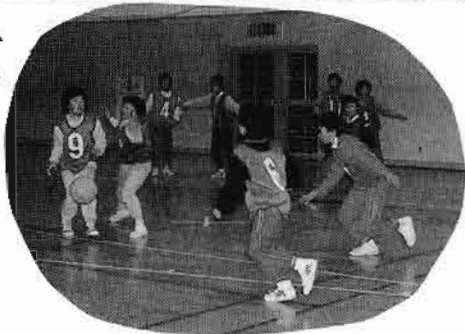
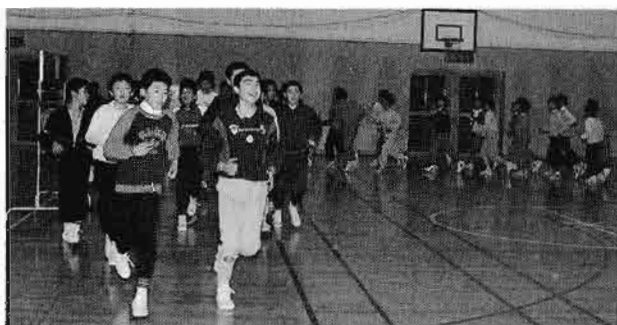
中山ミニバスケットスポーツ少年団(中山町)

指導者 叶 敬一

中山ミニバスケットスポーツ少年団は、昭和五十五年四月に長崎・豊田両小学校の生徒を対象に発足し、今年度で八年目を迎えました。

団員は、百十二名で週四回の練習に汗を流し、交流を深めています。

山形県ミニバスケットボール交歓大会では、女子が優勝、男子が準優勝という快挙を成しとげ、三月下旬に開催される全国大会(女子)、東北大会(男子)にむけ、連日練習に励んでいます。



▲▲ 全国大会、東北大会に向けて連日がんばっています

学習コーナー

スポーツの特性にふれる指導法

——サッカーを例に——

山形市立南小学校

校長 庄 司 正治郎



ようとい生懸命である。激しいボールの奮い合い、パスをつないでの攻め、それを防ぐ守りが生き生きと展開している。

笛が鳴ってハーフタイム。「チームワークへの工夫」の作戦板を使つてのゲーム分析。各チーム毎の練習。笛が鳴つて後半のゲーム。前半より激しいゲームである。ゲームにかける子供の意気込みが感じられた。ゲーム終了。ミーティング。最後にコーチの講評とキックの指導ですべて終了する。参観後、スポーツの特性に触れる指導とは、このような練習をいうのではないかと考えた。

ところで、この指導の特長は、ゲームを主体に、①ミーティング②チーム練習③

過日、機会あつて、M校のサッカースポーツ少年団の練習を参観した。次は、その練習風景である。

子供たちは、誰の指示を受けることもなく、ドリブルやシュートの練習にかかった。準備運動である。それが終わると、チーム毎のミーティングである。その内容は、作戦と練習方法の確認である。次にチーム毎の練習開始。その時間は約二十分で終了する。

やがてゲーム開始。どのチームもシュートを成功させ

その第一点は、「力一杯相手チームに挑戦する」というゲームの楽しさに触れさせるためである。第二点は、ゲームの過程における「練習や作戦の工夫」の楽しさに触れさせるためである。第三点は「チームワークへの工夫」の楽しさに触れさせたためである。この三点は、子供の側からみたサッカーの特性に触れる楽しさでもある。

このように、スポーツの特性に触れる指導を行うには、欲求充足の機能、いいかえれば子供の立場から特性を明確にし、それに応じた指導の工夫が必要である。これはサッカーだけでなく、他のスポーツにおいても必要なことである。

- 〈小国町〉
遠藤 剛
舟山 国雄
舟山 良美
今 國恵
若貝けい子
伊藤 唯之
- 〈白旗町〉
今 和子
伊藤 周次
迎田 和夫
戸嶋 清策
沼沢儀三郎
橋本 吉明
紺野 恵一
- 〈飯豊町〉
鈴木 智
鈴木 昌利
井上 裕夫
伊藤 敬英
松村 藤夫
高橋 亮
- 〈鶴岡市〉
板垣 三郎
小山 昌子
土田 裕介
金子 雅彦
佐藤 正道
佐藤 徹
今野 章二
阿部 龍男
佐藤 和夫
石塚 正寿
丸山 久
五十嵐与糸子
後藤 勇市
菅原 正道
中西 絹江
植木 茂雄
小池 弘子
遠藤 淳子
菅原 和夫
渡部 真一
本間 寿昭
佐藤 八男
阿部 匡一
鈴木 正井
白幡 和博
石塚富士男
佐藤 承明
嶋原 修
- 〈立川町〉
佐藤 進一
斎藤 雅志
丸藤 勝泰
- 〈余目町〉
渡辺 俊
深松 誠
赤部 義勝
高橋 克弘
土門 昌弘
- 〈藤島町〉
菅川 勝
石川 収一
- 〈羽黒町〉
丸山 一弘
- 〈朝日村〉
長谷川 功
鈴木二三男
伊藤 文
佐藤 昌三
佐藤 孝
阿部 茂則
- 〈立川町〉
渡部 政太
長南 卓
長谷川精三
五十嵐 昇
鈴木 実
佐藤 周一
安野 金雄
斎藤 龍良
松浦 妙子
宮腰 忠
佐藤 和久
小松 秀子
松崎 京子
丸山 正人
宮腰 邦生
長谷川繁哉
伊関 勝治
- 〈橋引町〉
菅原 勉
蛸井 せつ
剣持 美和
佐藤 敏
森 亜由美
- 〈三川町〉
阿部 孝次
- 〈温海町〉
佐藤 力
富樫 勝一
五十嵐 透
- 〈酒田市〉
小松 清吉
根上 定勝
梁瀬 忠雄
鈴木 省二
藤田 啓五
小松 進
佐藤 尊一
佐藤 秀雄
黒石 貞夫
早藤 政敏
相庭 博
須藤 春男
高橋 勝也
岡田 昭一
石黒 功
- 池田 重道
阿部 善孝
斎藤 良彦
石川金五郎
奥山美津男
岡部 正流
村形 広昭
小華和武士
佐々木順一
土門 直
斎藤 武志
今井 博樹
金湖憲美彦
酒井 公彦
龍原 真一
- 〈松山町〉
江司 恒夫
井司 東
池田 重悦
阿部 淳
佐藤 正信
斎藤美代子
斎藤 忠
後藤 俊
鈴木 常
- 〈平田町〉
阿部 孝
石黒 俊
赤木 光大
- 〈遊佐町〉
菅原 和幸
佐藤すみ子
及川 卯夫
- 〈八幡町〉
佐藤 正志
小松 満生
斎藤 慧一
荒生 孝志

ジュニアリーダー認定者

- 〈寒河江市〉
宇津井香織
日下部真弓
太田 繁
安孫子健二
工藤 恵哉
前原 俊之

- 〈河北町〉
横 ゆかり
堀 寛子
古田みずき
黒坂 智子

- 〈大石田町〉
海藤 秀一
青木 剛
森 弘之

- 〈真室川町〉
高橋 陽子
宮腰 康之

- 〈長井市〉
今井 正利
鈴木 秀樹

- 〈飯豊町〉
鈴木 圭介
山岸 正善
伊藤 孝広

ジュニアリーダー認定者

- 〈飯豊町〉
手塚 和洋

- 〈真室川町〉
高橋 陽子

- 〈川西町〉
内山 恭子

公認体力テスト判定員

【新規】

- 〈上市市〉
佐竹 春一
斎藤 武司
斎藤 郁子
- 〈河北町〉
直木 邦弘
吉田 恵里
- 〈村山市〉
古瀬 忠昭
宗片 史樹
笹原 敏雄
佐藤 俊一
青木 健吉
日塔 長七
保科 忠之
森 光子
鈴木 耕哉
大地 広美
笹原多美雄
- 〈東根市〉
堀江 秋平
青木 篤
石川 照夫
庄司 善一
大江 和信
斎藤 寛
東海林義弘
奥山 文雄
- 〈大石田町〉
有路 新一
- 〈舟形町〉
溝口 好広
真見 佐内
大須 正純
- 〈米沢市〉
高橋 宮一
- 〈長井市〉
広谷 啓夫
広谷 秀治

【更新】

- 〈山形市〉
井上 泰助
- 〈天童市〉
滝口 信一
- 〈寒河江市〉
大沼 啓助
荒井 春夫
岩田 輝夫
- 〈河北町〉
富樫 心平
渡辺 勲
大嶋 一夫
高橋 利晴
- 〈西川町〉
奥山 淳一
- 〈大江町〉
松田 栄一
堀 永敏
- 〈朝日町〉
藤谷 純雄
志藤 儀一
宮本 建一
- 〈東根市〉
牧原 和夫
松田 一雄
- 〈金山町〉
高塩 直彦
- 〈最上町〉
田村 祐治
- 〈舟形町〉
渡辺 勲美
近藤 謙
- 〈米沢市〉
菅原 勇
佐藤 光
亀岡 幸男

- 〈白旗町〉
塚原 芳明
- 〈鶴岡市〉
斎藤 龍良
榎本 猛
初田 好
- 〈余目町〉
斎藤 祐
- 〈朝日村〉
渡部 洋一
難波 清一
小野寺 学
- 〈三川町〉
太田 伸吉
- 〈平田町〉
後藤 幹司

スポーツ少年団認定指導員(山形県講習会)

昭和62年度
指導員資格
取得者

スポーツ少年団認定育成
指導員 (中央講習会)

<新規>

藤山 一栄 船山 清一
寒河江寿樹 伊藤 孝紀
芳賀 康雄 神谷 恒司

<更新>

斎藤 慎一郎 安部 新一
五十嵐正恒 川村 勝夫
佐藤 寛 藤田 勝
大沼 啓助

<山形市>

井上 信夫 大泉 喜男 高橋美賀子
佐藤登志男 佐藤 昭子 渡辺 巖
佐藤 喜信 太田 貞雄 栗原 三直
多田 和雄 佐藤 政広 太田 昌志
栗原 武志 平吹 雅彦 竹永 哲夫
伊藤 文雄 小川 憲雄 鈴木 省吾
加藤 政志 荒井 重義 加藤 俊一
白田 真人 釜田 正美 斎藤 勉
高島 享 山口 元次 田代 功
鈴木 義昭 大滝 昭一 栗野 一郎
伊藤 政美 竹田 芳明 駒沢 雅弘
堀内 秀次 森谷 昭仁 鈴木 久男
黒木 政吉 新海 重成 阿部 征二
保科 智之 斎藤 宏 松田 英也
小松 敏一 矢田目清一 佐藤 博彦
菊地 幸二 三原 憲一 松木 俊和
首野 淳 東海林勝志 結城 秀一
峯谷 幸市 鈴木 吉哉 半田 博隆
広瀬 芳博 深瀬 義信
庄司 紀 原田 和男
高橋 恵美子 土屋 芳美
横山 和雄 本間 清広
加藤 健司 渡辺 尊
本間 正二 片倉 寿男
川原 幸治 本多 博行
鬼島 芳友 後藤 三郎
阿部 芳友 後藤 三郎
東海林正昭 岡崎 克己

<上山市>

中村 清
江口 敏昭
佐藤 久司
渡部 智雄
鈴木 正芳
山川 勝也
渡辺 啓
山名 博和
斎藤 武司

<天童市>

長瀬 重昭 柴田 正志
富樫 政男 原田 秀明
松田 吾郎 大泉 浩幸
安城 順一 松田 昌三
茂木 勝己 新関 正平
鈴木 博 宗片 純子
鈴木 敏夫 後藤 長二
神尾裕一 齋藤 弘子
長岡 繁 渡部 則男
清野 文雄 池田 博之
博夫田 宏
伊藤 四郎

<山辺町>

沼尻嘉久雄
黄木
高橋 新也
阿部 邦夫
宗田 利一

<西川町>

柴田 正喜

<村山市>

片桐 令一
片野 新一
吉岡 政利
吉田 勉
古瀬 忠昭
堀井 祐治
宗片 史樹
高橋 辰雄
斎藤 正幸

<中山町>

高橋 昌一

<朝日町>

石塚 悦雄
菅浦 潤司

<河北町>

太田 勝志
佐藤 圭三
佐藤 勉
後藤 健次
後藤 一博
阿部 伸喜

<大江町>

輿部 正之
菊地 勝也
鈴木 正彦
伊藤 和彦

<東根市>

安達 藤太郎 寒河江浩男
松浦 稔 佐藤 文男
伊藤 秋子 安食 トミ
片桐 茂 青柳 進
三浦 通夫 今野 啓一
庄司 善一 青柳 芳樹
長瀬 早苗 高橋 俊晴

<新庄市>

小関富士雄 木村 敬和
柴崎 茂二 梅本 孝一
佐藤 繁夫 松田 清孝
荒川 稔 熊谷 祐一
佐藤 亮一 安彦 隆一
安食 敬二 武田 政夫
田中 新一 前田 信雄
丹野 公家 鈴木 信夫
武田 信一

<最上町>

八坂 啓一
浅黄繁太郎

<角形町>

矢作 昌孝
沼沢 幸子
八坂 邦夫
伊藤 正信
大野 止純
柿崎 清勝

<鮭川村>

吉川 恵一
佐藤 克剛
里坂 祐子
庄司 恵
山科はま子
井上 良一
高橋 浩一
津藤 茂
田中 豊
土田 清八
三塚 誠
八坂 鉄男

<高畠町>

川井 明
中川 勝
渡部 孝雄
穴戸 英祐
金子 良二
竹田 重隆
田中 孝

<川西町>

渡部 重徳
小川 政文
井上 道雄

<尾花沢市>

戸津 宣夫 有路 真
戸津 光彦 土屋 典雄
戸津 富男 加藤 次美
菅野 幸男 加藤 浩一
戸津 富英 三浦喜久雄
落合喜久男 早坂 洋
東海林高弥 本間 義昭
西塚 政悦 阿部 孝敏
菅藤俊一郎 石川 啓次
鎌田 浩美

<金山町>

佐藤 久 五十嵐義明
阿部 俊昭 笑口 勝則
須藤 友明 松田 昇
五十嵐 登 鈴木 英樹
泉川 隆弘

<真室川町>

高橋 城之 栗田 守
高橋けい子 松井 忠敏
黒坂 喜栄 大友竜代司
小野 喜久 栗田 理
小野 久子 藤島 正忠
佐藤 剛 鶴岡 博則
斎沢 広昭 高橋 清一
佐藤多喜子 佐藤 哲弥
高橋 敦

<戸沢村>

荒川 満幸
八坂 勝也
山内 秋雄
田中 中子
柿崎 美弥

<米沢市>

鈴木 敏昭
高橋 宮一

<長井市>

広谷 啓夫 菊地 明
伊沢 和義 鈴木 博郎
広谷 秀治 佐々木勝彦
三宅 隆司 荒川 剛
青木 正行 沼沢 孝典
椎名 隆房
寺嶋 嘉房
梅津 浩一
鈴木 亮一
菊地 和昌
飯沢 功
金子 寿
笹川 直樹
寒河江美市
金子三千栄
村上 春彦
渡部 隆

<大石田町>

青木 勇治
布川 和樹
土附 隆
阿部 彦弥

わがまちの指導者



釜淵スキースポーツ少年団
代表指導者 藤田 正勝

団を結成して10年、この間マスコミを賑わすような花々しい足跡こそ少ないが、地道な活動による団の連帯感や事業はすっかり地域に定着している。

「単に競技力の向上だけにとらわれず、地域に即した社会活動のできる団員の育成を目標にしている。」と話してくれる目はキラリと輝き、まだまだ若い38歳である。



養桑スキースポーツ少年団
指導者 木村 磯次

「子供たちに、技術の向上と共に、夢とチャレンジと仲間づくりの楽しさを感じ、考えさせたい」スポーツの活動を終えた彼は、汗と雪焼けの顔で語る。大地とのつながりの農業を営みながら、保育園のマイクロバスの運転手でもある彼は、大自然と人間との関係の大切さを子供たちに伝えたいとも言う。スポーツを通しての人づくりである。

現在、白鷹町スキースポ少連絡協議会長でもある。



昭和62年度

山形県スポーツ少年団表彰

功労者と 優良団体

本年度の功労者、優良団体は次のとおりです。

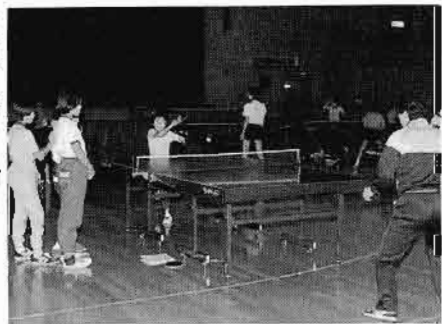
◎功労者

- 木村久雄 (山形市)
- 飛川芳美 (東根市)
- 小松茂美 (新庄市)

◎優良団体

- 高橋云出 (高島町)
- 菅原清作 (遊佐町)
- 上山アルペン
- スポーツ少年団(上山市)
- 送橋剣道スポーツ少年団
- 羽山スキースポーツ少年団 (朝日町)
- 長井市柔道スポーツ少年団 (米沢市)
- 鶴木スポーツ少年団 (長井市)
- (鶴岡市)

市町村の動き



▶国体出場を目指して

河北町

「へにはな国体」卓球競技成年の部の会場となる本町では、町内の卓球スポーツ少年団(小学校六団・中学校一団)から選抜された団員(男子十五名・女子十五名)が「国体選手のキップを我が手に」の合い言葉のもとに元氣一杯フロア狭しと連日練習に打ち込んでいる。



63年度事業予定

- ・第10回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 6/26・7/3 (中山町)
- ・第24回山形県スポーツ少年団大会 7/29・31 (尾花沢)
- ・全日本少年サッカー大会県予選会 6/19・7/3 (酒田・鶴岡)
- ・山形県少年少女スポーツ交流大会 10/2 (山形市)
- ・第19回東北ブロックスポーツ少年大会 7/27・30 (青森)
- ・第26回全国スポーツ少年大会 7/27・8/1 (北海道)
- ・第10回全国スポーツ少年軟式野球交流大会西薬羽大会 7/24 (酒田)
- ・第8回東北ブロックススポーツ少年団競技別交流大会 サッカー 7/31・8/2 (山形)
- ・柔道 12/10・11 (福島)
- ・ミニバスケット 3/28・30 (青森)
- ・第11回全国スポーツ少年団競技別交流大会 卓球 3/26・29 (東京)
- ・剣道 3/29・31 (東京)
- ・認定指導員養成講習会(県内6地区) 東南村山 5/21・22
- ・西村山 未定
- ・北村山 12/10・22
- ・東内盛賜 12/3・4
- ・庄内 1、9、10、11
- ・第15回日独スポーツ少年団同時交流 7/23・29 (最上)